

エンカウンター (ENCOUNTER)

第 9 号

平成 15 年 1 月 20 日

発行所 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

ビリー・グラハム「きょうのみことば」より (5)

7 月 19 日

天の軍勢の主がお語りになる。「これは、能力によるのでも、権勢によるのでもない。わたしの霊によるのだ。」(ゼカリヤ 4・6)

イエスが十字架で死なれて後、悩みのうちにあった弟子たちは絶望して、「私たちは、この方こそイスラエルを贖ってくださるはずだと望みをかけていました」(ルカ 24・21)と言った。彼らのうちには、苦悩があり、絶望があり、悲劇があったのである。彼らの人生は、その意義と目的を失ってしまっていた。しかし、復活が明らかになったとき、人生は、新しい意義を持つようになった。人生に、目的と理由が与えられたのである。

デーヴィッド・リビングストン(イギリスの宣教師・アフリカ探検家 1813 - 1873)はかつて、グラスゴー大学において、一団の学生たちに語ったことがある。彼が話すために立ち上がったとき、彼は、アフリカにおける戦いの印を、身に帯びていた。数種類の病気が 30 回近く彼を苦しめたので、彼はやつれ、やせ衰えていた。彼の左腕は、ライオンによって打ち砕かれ、ぐにゃぐにゃになって垂れ下がっていた。自分の試練と苦難を述べた後、彼は言った。「わたしがその言語を理解することができず、わたしに対して常に、はっきり

しない、そして時には敵意に満ちた態度さえ取る人々の中で過ごした年月の間、私の支えとなったものは何であったか、このことをぜひお聞きになりたいとお思いでしょう。それは、『見よ。私は、世の終わりまで、いつも、あなた方と共にいます』というお言葉でした。私は、このお言葉に、すべてをゆだねたのです。そして、このお言葉が私の期待にそむいたことは、一度もなかったのです」と。

7月24日

小さいことに忠実な人は、大きいことにも忠実であり……。

ルカ16・10

神が期待しておられること、そして、そのすべては、私たちが、自分のタラント（才能）と賜物のすべてをささげきることである。それが、マタイの福音書25章にあるタラントのたとえの意味である。このたとえを読みなさい。そうすれば私たちは常に、私たちの忠実さのゆえに報いを受けるということを、悟るであろう。あなたは、他の誰にも劣らず忠実な者となり、主のおほめのことばをいただくことができるのである。あなたの持っている一つのタラント（才能）を取り、それを永遠の事柄に投資せよ。豊かな才能を持っている人々の中には、人々に見られようとして事を行っているために、報いを失っている人がいる。また、才能に恵まれていない人々の中には、自分の持っているものが他の人々の注意をひかないために、それをささげず、報いを失っている人々がいる。どちらも、同等に罪を犯しているのである。

7月31日

キリストのために苦しみを受けて死ぬ時が、天で、キリストと共に
生きる時の始まりを意味する。 テモテ2・11

私には、ある友人がいる。彼は、不景気のために仕事を失い、財産を失い、妻を失い、そして、家庭を失ってしまった。しかし、彼は執拗に自分の信仰 彼にとって残された唯一のもの にすがりついていた。ある日彼は、数人の男が教会の石工事をしているのを見守るために立ち止まった。彼らのうちの一人は、三角形をした石をのみで刻んでいた。「あなたは、それを、どうしようというのですか」と私の友人は尋ねた。その職人は、「尖塔の近くに小さな穴があるのが見えませんか。私は、今これがその穴にぴったりとはまるように細工しているのです」と、答えた。私の友人が立ち去るとき、その目には涙があふれていた。なぜなら、神が、その職人を通して、彼が通過しつつあった彼の試練を説明しておられるように思われたからである。「私は、あなたを、天国において適合するように、この地上において細工しているのです」と。

8月13日

キリストの死と復活……は、私たちが生きているときも死んでいるときも、キリストがいつも私たちの主となられることだったので。

ローマ14・9

聖書は、驚くほどしばしば、キリストの肉体による復活の事実を確言している。おそらく、聖書のすべての記述のうちで最も直接的なのは、「使徒の働き」の中にあるルカのそれであろう。「イエスは苦しみを受けた後、40日の間、彼らに現れて……数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された」(使徒の働き 1・3)と。私たちは、これらの「数多くの確かな証拠」を、どうすればよいのだろうか。ある人が、私の同僚のジョージ・ベヴァリー・シェイに、「あなたは、神について、どれだけのことを、知っていますか」と、尋ねた。彼は、「私は、多くを知りません。しかし、私の知っていることが、私の人生を変えたのです」と、答えたのである。私たちは、この証拠のすべてを科学の実験室へたずさえて行き、それを証明することはできないかもしれない。しかし、もし歴史上の何かしら証拠を受け入れているならば、私たちは、イエス・キリストが死からよみがえられたという事実を、受け入れねばならないのである。

8月17日

空の鳥を見なさい。食べ物の心配をしていますか。種をまいたり、刈り取ったり、倉庫にため込んだりしていますか。そんなことをしなくても、天の父は鳥を養っておられるでしょう。まして、あなた方は、天の父にとって鳥よりはるかに価値があるのです。 マタイ6・26

英国の鉄道の保線作業員たちは、レールの下につぐみの巣があり、雌鳥が、その上や周囲を通過する高速の列車の轟音にも煩わされずに、平安の内に、卵を温めているのを、発見した。ある人が、次のようなささやかな詩を書いている。

こまどりが すずめに言った。

「私がぜひ知りたいのは、
なぜ、心配顔の人間たちが、走り回ったり、
くよくよしているかということです。」

すずめが こまどりに言った。

「友よ、それは、彼らが、
あなたや私をかえりみてくださる、天のお父様を知らないから
でしょう。」

イエスは、思い悩むことが不自然だということを強調するために、鳥たちの態度をお用いになった。私は自分の生活において、毎日、私の思いをキリストに集中することを、学んでいる。そうすれば、この世の心配事はなくなり、「全き平安」以外に何ものも心に残らなくなるからである。神は、私たちの思い煩う事柄に対して、責任を取っていてくださるのである。

8月19日

キリストのことばを、あなた方の内に豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。 コロサイ3・16

クリスチャンは喜んでいるべきである。そうするには、あなたはただ、神があなたのためになしてくださったすばらしい数々の事柄を、考えればよいのである。それから私たちは何も思い煩わないで、祈りによって私たちの願い事を知っていただくようにと告げられている。あなたの最大の問題であっても、あなたはそのことを相談することのできるお方を知っている。そして、あなたは、彼がその大きな問題に答えてくださることを確信して、彼の御前にあなたの心を注ぎだすことができるのである。それから、私たちは、自分の思いを、良いもので満たすべきである。それらは、聖書の中に、真実なこと、誉れあること、正しいこと、清いこと、愛すべきこと、評判のよいこと、そのほか徳と言われることとして、述べられている。私たちが考えなければならないのは、このような事についてである。消極的に生きるのではなくして、積極的に生きよ。ひとたびあなたがその秘訣を学ぶならば、神は、あなたに、勝利を与えてくださるのである。

1980年のビリー・グラハム伝道集会で頂いた パンフレットの中より

1980年のビリー・グラハム先生の伝道集会で頂いた「私の決断」と題するパンフレットを大切に保存していました。その中から、一部を引用いたします。

ビリー・グラハムからの励ましのことば

親愛なる友へ

神はあなたが豊かで力強い人生を歩くことを望んでおられます。そして、神は、このことのためにすべての準備をなさいました。以下は、その人生についてのいくつかの基礎的な事柄です。

第1に、聖書は魂の食物です。そして魂はあなたの肉体と全く同じように、養われなければなりません。みことばを通して、神はあなたに語りかけ、あなたの人生のための神の計画を表わされます。どうか聖書を毎日お読み下さい。1日に少なくとも1章読む努力をしてみてください。

聖句の暗誦を始めてください。みことばを学び、暗誦することは、あなたが生きたクリスチャンとして成長するのに助けとなるからです。

第2に、祈りは神様とあなたを結ぶ命綱のようなものです。毎日を祈って始める習慣をつけてください。最初は、神様との会話は奇妙に思え、ぎこちなくて、何と祈ったらよいかわからないかもしれません。しかし続けるうちに、あなたの祈りは、もっと意義深いものとなるでしょう。ですから、毎日を祈りをもってはじめて下さい。そして、必要が生じてくるにつれて、その日の終日祈ることを学んでください。あなたの問題と重荷のすべてを神様のところにもって行ってください。なぜなら神様は、あなたのするすべてのことに関心をもっておられるからです。「あなたの思い煩いを、いっさい神に

ゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。」(ペテロ 5・7)

第3に、神様の救いを体験したあなたは、キリストの証人となります。あなたはどこへ行くにしてもキリストの大使であるべきです。それはあなたが外で出会うすべての人に語りかけると言うことではありません。それは、あなたが今までと異なった生活を始めるということです。と言うのは、あなたの生活そのものが、あなたの証になるからです。あなたが他の人にキリストを伝えることができるように毎日祈ってください。そうすれば神様は機会を与えてくださるでしょう。あなたが忠実に聖書を学び、みことばを暗誦するとき、キリストをあかしする備えがなされていくのです。

第4に、あなたは自分だけで、力あるクリスチャンになることはできません。もしあなたが、まだ教会員でないなら、神のことばが忠実に語られ、教えられている教会に出席してください。あなたの協会が地域社会の中で強いインパクトを与えることができるように、牧師、教会役員、教師のために祈ってください。教会の働きを助け、支えるために、あなたの時間とお金を喜んで用いてください。

あなたが誘惑を受けたときには、いつも、神様の約束を常に覚えて堅く立ちましょう。あなたの信仰のゆるぎない錨である、みことばに行くことを学んでください。

あなたの信仰の新しい歩みの上に、神様の祝福が豊かにありますように。

ビリー・グラハム